

# 器官系の病態構造 I

## 授業概要

器官系の病態構造 I の講義・演習では消化器臓器の病態について広く学ぶ。消化器臓器には種々の疾患が発生し、腫瘍、炎症を中心にその形態と機能が大きく変化する。この病態に伴う変化について統合的に学ぶ。

## 担当教員

|           |             |
|-----------|-------------|
| 木下芳一（主担当） | 教授・内科学第二    |
| 石原俊治      | 准教授・内科学第二   |
| 佐藤秀一      | 准教授・光学医療診療部 |
| 石村典久      | 講師・消化器内科    |

## 一般目標 general instructional objectives

1. 消化器臓器の病態に伴う形態学的・機能的変化を統合的に理解する。

## 行動目標 specific behavioral objectives

1. 消化器疾患に伴う臓器の形態変化を説明できる。
2. 消化器疾患に伴う臓器の機能変化を説明できる。
3. アレルギー性消化器疾患の成因を説明できる。

## 成績評価の方法

すべての講義と演習が終わった後、規定の出席率（2/3 以上）を満たした学生に対し、課題を呈示し、レポートの提出等を指示する。そのレポート等を行動目標の達成度を主眼に評価する。

## 使用テキスト・参考文献

1. 消化器疾患エッセンシャルドラッグ 1, 2, 3 プラス 木下芳一編 南江堂
2. 消化器診療スケジュール 木下芳一編 南江堂
3. 機能性食道疾患 木下芳一編 最新医学社

## 教育内容

| 回  | 授業内容   | 担 当  |
|----|--|------|
| 1  | 胃食道逆流症の疫学、病態<br>胃食道逆流症（逆流性食道炎および非びらん性胃食道逆流症）の疫学、病態                                     | 木下芳一 |
| 2  | 胃食道逆流症の診断と治療<br>胃食道逆流症（逆流性食道炎および非びらん性胃食道逆流症）の診断と治療                                     | 石村典久 |
| 3  | Helicobacter pylori 感染と酸分泌抑制薬<br>Helicobacter pylori 感染の無投薬時および酸分泌抑制薬投与時の酸分泌に及ぼす影響について | 石原俊治 |
| 4  | Helicobacter pylori 感染と消化器外疾患<br>Helicobacter pylori 感染の血中脂質、動脈硬化に及ぼす影響について            | 石原俊治 |
| 5  | Functional dyspepsia (FD)<br>Functional dyspepsia (FD) の分類、疫学、病態、治療について                | 石村典久 |
| 6  | Zollinger-Ellison Syndrome の病態   | 石原俊治 |
| 7  | 胃酸分泌の調節機構とその異常亢進をおこす疾患の病態について  | 石原俊治 |
| 8  | 消化管の運動の調節機構とその神経調節   | 木下芳一 |
| 9  | 消化管の運動の調節機構とホルモンによる調節  | 木下芳一 |
| 10 | 老化とアレルギーが消化管の形態と機能に及ぼす影響   | 木下芳一 |
| 11 | 消化管の stem cell による再生機構   | 石村典久 |
| 12 | 老化が肝臓の形態と機能に及ぼす影響  | 佐藤秀一 |
| 13 | 肝炎ウイルスの肝内での増殖機構 I<br>B 型肝炎ウイルス   | 佐藤秀一 |
| 14 | 肝炎ウイルスの肝内での増殖機構 II<br>C 型肝炎ウイルス  | 佐藤秀一 |
| 15 | 肝繊維化の機構について  | 石村典久 |